

【背景】

近年、局地的な大雨の増加に伴い、従来は想定されていなかった場所においても道路冠水が発生する事例が見られるようになっていきます。

【目的】

本実証では、道路上の冠水状況の早期把握および情報の可視化を通じて、迅速かつ的確な対応につなげるための検証を行います。



【実証概要】

- ・ 実施場所： 川崎市様ご提供 道路の実証フィールド
- ・ 実施期間： 令和5年6月28日～
- ・ 検証内容： 浸水型冠水センサによる検知、閾値超過の通知、課題整理

【技術の概要】

浸水型の冠水センサを対象道路に設置し、クラウドに浸水状況を集約するシンプルなシステム構成です。クラウド上での情報可視化と閾値超過時の通知等が可能です。

【技術の特徴】

- ・ 道路環境に適したシンプルな機器構成
- ・ 迅速な状況把握
- ・ 現地確認の効率化に寄与

【期待される効果】

- ・ 冠水の早期把握
- ・ 道路管理の効率化
- ・ 防災対策への活用

【今後の展開】

実証結果をもとに実用化に向けた検討を進めます。

※本資料は一般公開用のため詳細仕様を省略しています。

